

みんなで語り、伝えよう！ 生田川物語

生田川散策マップ

家族で探してみよう！

私たちの山の自然・ロマン

六甲山地の自然を楽しみながら、六甲山地の不思議に触れ、素晴らしい自然を知り、安全について考えてみよう！



散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「生田川物語」のモデル散策マップです。裏面で各散策ポイントに関する情報を紹介しています。

より詳しい情報を掲載した冊子や他の散策マップ、散策しながら学習できるサブノートなどの入手先は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



守って欲しいこと
 家族など大人と一緒に山を登りましょう！
登山する時の服装と準備するもの

1. 服装
 動きやすい服装で、はきなれた運動靴や登山靴をはきましょう！

2. 準備するもの

○地図(必需品)	○リュックサック
○雨具(カッパ)	○水
○おむすびやパンなどの食料	
○あめやチョコレートなどの行動食	
○方位磁針(コンパス)	○筆記用具
○カメラ …など	

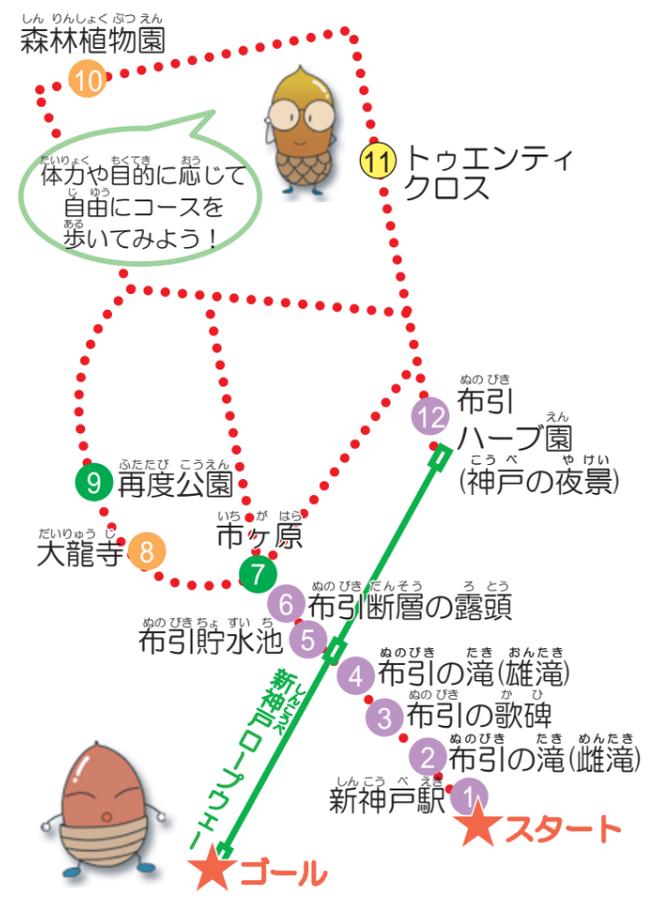
3. 注意すること

- 山で火を使わない！ ○ゴミは持ち帰る！
- 動物にえさをやらない！
- とっていいのは写真だけ、草花などは採取しないで観察しましょう！
- マムシ、ヤマカガシ、スズメバチなどに会ったら要注意！

マップの見方

- 【見学ポイント】**
- 「不思議」に触れる見学ポイント
 - 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
 - 「安全」を考える見学ポイント
 - 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント
- 【移動手段】**
- 徒歩 (分: 矢印間の移動時間の目安)
- 【その他】**
- 駅
 - ≡ 鉄道
 - ⊗ 学校
 - トイレ

散策ポイント



【問い合わせ先】
 国土交通省 六甲砂防事務所
 住所: 〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
 電話: 078-851-0535
 ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

家族で探してみよう！私たちの山の自然・ロマン

(ポイントの紹介)

実際に見学した箇所の「印」にチェックをしよう！
印横の数字は「冊子」の関連ページです。

新神戸駅

15,16P

新神戸駅は、諏訪山断層という活断層の真上にあります。そのため、断層上の線路が通る建物と両側の建物を別々のものとし、地震の時に別々に動くよう工夫されています。



新神戸駅 新神戸駅(3つの建物)の断面イメージ

新幹線のトンネルを掘るのは大変だったんだよ！

市ヶ原

52,69P

昭和42年(1967年)7月の大雨で市ヶ原(中央区糀合)の世継山斜面では、土砂が崩れ落ち、ふもとの市ヶ原集落をおそい21名の人命が失われました。

このような土砂災害を防ぐために、砂防施設が造られています。この砂防施設の代表的なものが砂防えん堤です。



昭和42年災害の様子(市ヶ原付近) 市ヶ原えん堤

今までにどんな災害があったか知ってる？

トゥエンティクロス

32,69P

森林植物園東門から市ヶ原までの区間はトゥエンティクロスと呼ばれています。沢を左へ右へ20回(トゥエンティ)も渡る(クロスする)ことからその名が付けられました。また、トゥエンティクロスを過ぎると砂防施設の二十渉えん堤が見られます。



トゥエンティクロス 二十渉えん堤

トゥエンティクロスってどういう意味なの？

布引の滝(雌滝・雄滝)・布引の歌碑

14P

新神戸駅から山を登っていくと、4つの滝があります。この4つの滝を合わせて布引の滝といい、もっとも下の滝を雌滝、もっとも上の滝を雄滝といいます。平安時代から貴族や文人が布引の滝を訪れ、多くの和歌を残しました。その和歌をきざんだ碑が布引の歌碑です。



布引雌滝 布引の歌碑 布引雄滝

布引の滝への道は、「歌碑のみち」と呼ばれているんだよ！

大龍寺・再度公園

26,80P

明治時代の初めごろ六甲山地は地表が見えるほど荒れ果てていました。しかし、大龍寺などの社寺には、古からの木々が残っています。また、再度山は、六甲山地の自然を守るシンボル「永久植生保存地」として、5年ごとに調査を続けています。再度公園の中央にある修法ヶ原池の湖畔には、植林を記念する記念碑が建てられています。



大龍寺 再度公園(修法ヶ原池)

今までのどんな災害があったか知ってる？

布引ハーブ園(神戸の夜景)

3P

六甲山地から見る夜景は、1,000万ドルの夜景と呼ばれ、日本三大夜景の1つとして知られています。新生田川の上流にある布引ハーブ園などからきれいな夜景を見ることができます。



布引ハーブ園 布引ハーブ園からの夜景

どうして六甲山地から見る夜景はきれいなのか知ってる？

布引貯水池・布引断層の露頭

12,13,23P

新生田川の上流にある布引貯水池は、神戸市民の飲み水の水源として明治33年(1900年)に完成しました。

この貯水池は、明治時代神戸市でコレラが流行し、これを予防する目的で造られました。この貯水池の近くでは、岩の裂け目のような布引断層の地表に出ているところの一部が見られます。



布引貯水池 布引断層の露頭

森林植物園

27P

森林植物園には、六甲山地をはじめ日本や世界の樹木が植えられています。また、花も育てられていて、六甲の山なみを背景に四季折々の自然を楽しめます。

園内では「幻の花」「幻のアジサイ」といわれるシチダンカを見ることができます。



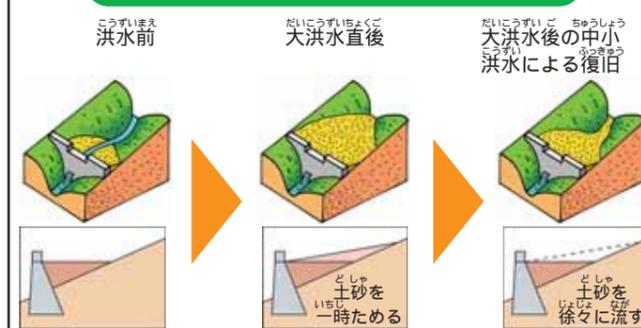
シチダンカ 森林植物園

六甲の名花「幻の花」シチダンカって知ってる？

砂防えん堤の仕組み

砂防えん堤は、山から流れ出た土砂を一時受け止め、下流に一気に流れないようにします。その後、たまった土砂を少しずつ下流へ流します。

【砂防えん堤の仕組み】



六甲の植物

六甲山地では、1年を通じて四季折々の植物が見られます。

春には、タムシバ、シハイスミレ、スズシロソウなど



タムシバ シハイスミレ

初夏には、ガマズミ、ホタルブクロ、ヤマアジサイなど



ガマズミ ホタルブクロ

夏には、ナツツバキ、フサフジツギ、ダイコンソウなど



ナツツバキ フサフジツギ

秋には、シマカンギク、イナカギク、ミツパベンケイソウなど



シマカンギク イナカギク

六甲山地で見られる貴重な生き物

六甲山地には、スミスネズミやモリアオガエル、ギョリキマイマイなどの貴重な生き物がいます。

スミスネズミ (写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館)
イギリス人のリチャード・G・スミスが明治37年(1904年)に六甲山地北側で新種の野ネズミを発見したことから、スミスネズミと命名されました。

モリアオガエル

森に住む日本にしかないカエルです。産卵に特徴があり、水面に突き出した木の枝に白い泡を包んで卵を産みます。ふ化したオタマジャクシは、下の水面に落ちて水中で育ちます。

ギョリキマイマイ (写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館)
六甲山地を代表するカタツムリの1つで、最大級のもので、特に有馬や摩耶山のものが大きく、最大で約5cmのものも確認されています。

